

インテル® OFU (One Boot Flash Update) ユーティリティ ユーザガイド

法的情報

このインテル® One Boot Flash Update ユーティリティ ユーザガイドおよび記載されているソフトウェアは、ライセンスの元で提供されており、本ライセンスの条項に基づいてのみ使用または複製できるものとします。本マニュアル内の情報は情報目的でのみ提供されており、予告なしに内容を変更することがあります。また、インテル コーポレーションが責任を負う義務があるとは解釈しないものとします。インテル コーポレーションは、本文書、または本文書と関連して提供される任意のソフトウェアにおいて起こりうる、いかなるエラーまたは不正確さについて、その責任や義務を負うことはありません。

ライセンスにおいて許諾される場合を除き、本文書のいかなる部分も、インテル コーポレーションの書面による明示的な許諾を得ることなく、複製、検索システムへの保存、いかなる形態または手段の送信もできないものとします。

このドキュメントの情報は、インテルの開発したサーバ ボードとシステムをサポートする目的においてインテル® 製品に関連し提供されております。このドキュメントによって、すべての知的所有権は禁反言またはその他によって明示的または黙示的に許諾されるものではありません。インテル製品の販売に関する条件および条項の記載内容以外に対し、インテルは一切の責任を負いかねます。また、インテルは特定目的に対する適合性、商品性、いかなる特許権の侵害、著作権、またはその他の知的所有権に関する責任および保証も含め、インテル製品の販売および (または) 使用に関する明示的または黙示的な保証を負うものではありません。インテル製品は、医療、人名救助、生命維持、危機制御または安全性システム、または原子力施設のアプリケーションにて使用されるものではありません。

インテルは、随時予告なしに仕様および製品の説明を変更することがあります。

Intel, Intel Core、および Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

* その他の製品名またはブランドは各所有者に帰属します。

Copyright © 2004–2006 Intel Corporation.

目次

はじめに	1
インテル® One Boot Flash Update の実行	3
コマンドライン構文	3
リモート クライアントからサーバを更新する	5
用語集	6

このページは意図的に空白にされています。

はじめに

インテル® One-Boot Flash Update (インテル OFU) ユーティリティは、オペレーティング システムの実行中にサーバ上のシステム BIOS およびファームウェア (BMC、FRU、SDR) を更新します。このユーティリティは、コマンド プロンプトから起動します。このユーティリティは、Intel ローカル コントロール パネルまたはホットスワップ コントローラ (HSC) のファームウェアは更新しません。このユーティリティでは、デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサ・ベースのインテル製サーバーに搭載された、オプションのインテル・ローカル・コントロール・パネルのファームウェアをアップデートすることもできます。

リリースノートまたはご使用のインテルのサーバ プラットフォームの対応しているオペレーティング システムのリストに明記していない限り、このユーティリティは Intel System Management Software がサポートするすべてのオペレーティング システムで実行できます。

ユーティリティを実行すると、FRU の更新がただちに有効になります。システム BIOS、BMC、SDR はそれぞれのセカンダリ フラッシュ領域にプログラムされ、更新ユーティリティは BIOS および BMC にユーザがセカンダリ フラッシュ領域を更新したことを示す内部フラグを設定します。システムのリセット後、新しいバージョンのシステム BIOS、BMC、SDR は検証されてアクティブにされます。

本ユーティリティは、Windows では Telnet クライアントおよびターミナル サービスを、Linux では Telnet クライアントとリモート シェルを使用して、セキュリティで守られたネットワーク接続経由で実行することができます。

このバージョンのインテル OFU ユーティリティは、現在以下のインテル サーバ ボードでサポートされています。

- インテル エントリ サーバ ボード SE7221BK1-E
- インテル サーバ ボード SE7320SP2
- インテル サーバ ボード SE7320VP2
- インテル サーバ ボード SE7520AF2
- インテル サーバ ボード SE7520BD2
- インテル サーバ ボード SE7520JR2

- インテル サーバ ボード SE7525GP2
- インテル・サーバ・プラットフォーム SR6850HW4、SR6850HW4M、SR4850HW4、および SR4850HW4M
- インテル・サーバ・ボード S5000PAL
- インテル・サーバ・ボード S5000PSL
- インテル・サーバ・ボード S5000VSA

ご使用のサーバ用のインテル OFU の最新の更新パッケージについては、
<http://support.intel.com/motherboards/server/> を参照してください。

インストールの手順については、ソフトウェアに同梱のインストール マニュアルを参照するか、
Web ベースで配布されたソフトウェアの場合は、ダウンロード時に提供される Readme ファイル
を参照してください。

インテル® One Boot Flash Update の実行

インテル OFU を実行するには、コマンド プロンプトで flashupdt コマンドを入力します。

注

このユーティリティを実行するには、まず、作業ディレクトリをユーティリティがインストールされているディレクトリに設定します。これは、ユーティリティが、作業ディレクトリにある特定ファイルに依存して動作するからです。

インテル OFU は Windows の場合は管理者権限、Linux の場合は root 権限を必要とします。

コマンドライン構文

構文：

```
flashupdt [-i] [-u < URL またはパス>] [-c] [-h|?]
```

説明：

更新パッケージで提供されるインテル OFU 設定ファイルに指定されたシステム BIOS またはファームウェアによって、インテルのローカル サーバのシステム BIOS またはファームウェアを更新します。

オプション :

[-i]	現在実行されているシステム BIOS、BMC、SDR のバージョン情報を表示します。-i オプションが -u オプションとともに指定されると、ユーティリティは更新パッケージのファイルのバージョン情報を表示します。
[-u]	<p>システム BIOS とファームウェアの更新を実行します。<URL またはパス> パラメータは、更新に必要なファイルがある場所を指定します。<URL またはパス> の値には、ローカル ファイルのシステム パス、FTP サーバ、または HTTP サーバを指定できます。-u オプションの使用例：</p> <div style="margin-left: 20px;"> -u 現在のローカル ディレクトリを指定します。 -u http://<IP アドレスまたは URL>/<path> -u ftp://<ログイン パスワード>@ HTTP サーバを指定します。 <サーバ名または IP アドレス>/<path> FTP サーバを指定します。 -i と共に -u を使用した場合、更新は実行されません。パッケージ情報の表示だけが行われます。 </div>
[-c]	ユーティリティを使って実行された待機中の BIOS、BMC、および SDR の更新操作をキャンセルします。ユーティリティは、BIOS、BMC、および SDR の内部フラグをリセットして、更新の有無に関わらず、更新操作をキャンセルします。FRU の更新はすぐに有効になります。
[-h] [?]	コマンドラインのヘルプ情報を表示します。

構文の例：

```
flashupdt -u ftp://ftp.examplesite.com/UpdatePackage/ServerName
```

```
flashupdt -u "ftp://ftp.examplesite.com/Update Package/Server Name"
```

```
flashupdt -u ftp://Kevin:87w09@ftp.examplesite.com/UpdatePackage/ServerName
```

Windows の場合 :

```
flashupdt -u c:\UpdatePackage\ServerName
```

Linux の場合 :

```
flashupdt -u /UpdatePackage/ServerName
```


リモート クライアントからサーバを更新する

本ユーティリティは、Windows では Telnet クライアントおよびターミナル サービスを、Linux では Telnet クライアントとリモート シェルを使用して、セキュリティで守られたネットワーク接続経由で実行することができます。リモート ログインおよびリモート コマンドの実行の詳細については、ご使用のオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

リモートからログインすると、上で説明した構文が使えるようになります。この処理は、複数サーバをリモートから更新するためにスクリプト化することが可能です。

用語集

次の用語と略語が本文書で使用されています。

用語	説明
BMC	Baseboard Management Controller (ベースボード管理コントローラ)
ファームウェア	本文書におけるファームウェアとは、BMC、FRU、SDR コンポーネントを指します。
FRU	Field Replaceable Units (現場交換可能ユニット：システム コンポーネントを説明するためにファームウェアによって使用されるファイル)
IPMI	Intelligent Platform Management Interface (インテリジェント プラットフォーム マネージメント インターフェイス)
SDR	Sensor Data Records (センサー データ レコード)